



事務所 伊那市西町5016-2 Tel(72)0077 例会日 毎週木曜日 会場くぬぎの杜 Tel(78)1121
 会長 荒木康雄 幹事 向山賢悟 会報委員長 唐木 拓 第2981回 例会2023.2.16 No.1642



イマジン
ロータリー

2022-23 年度 RI テーマ

IMAGINE ROTARY

創立63周年記念例会

ソング 君が代・奉仕の理想

四つのテスト 職業・社会奉仕委員会

会長談話 荒木康雄会長

2月も中旬を迎え受験シーズンの真っ只中です。学問の神様と言えば菅原道真公ですが、「大宰府天満宮」に植えられている約200種類約6,000本の白梅紅梅の開花の便りが聞こえてきました。道真公が都を離れる際に「東風吹かばにほひをこせよ梅の花 主なしとて 春な忘れそ」と詠み、その後一夜の内に京都から大宰府へ飛んだと伝えられる「飛梅」は現在もご神木として健在で境内の中で最も早く花を咲かせ、今年は1月23日に開花したそうです。受験生の皆さんには一日も早く「サクラサク」ことをお祈り致します。



さて、本日は伊那 RC の創立記念例会です。伊那 RC は、1960年2月18日に諏訪 RC をスポンサーとして故・寺島清七様を特別代表として創設され、同年3月4日に長野県で7番目のクラブとして誕生し、国際ロータリー加盟が認証されました。設立時のチャーターメンバーは26名であったと聞いております。今年で63期を迎え、現在56名のメンバーと共に奉仕活動及び会員交流を行っております。設立当時の63年前の出来事を調べてみますと、現天皇の浩宮徳仁親王が生まれる、日米相互協力及び安全保障条約の調印、全学連7,000人が国会に突入、OPECの結成、ソニーが世界初のトランジスタテレビを発売、日本でカラーテレビの本格放送開始、ダッコちゃん人形の大ヒット、石原裕次郎と北原三枝が結婚、年末には、アメリカ大統領にジョ

ン・F・ケネディの当選が確実となるなどです。また、この年は「アフリカの年」と呼ばれアフリカ地域の多数の国が西欧諸国から独立を果たしました。この63年の間に伊那 RC は人が替わり、また RI の組織変更などにより所属地区も260地区から2600地区へと変わりましたが、基本である奉仕の精神は変わらず、現在は「職業奉仕」「社会奉仕」「国際奉仕」「青少年奉仕」「クラブ奉仕」の5大奉仕活動に取り組んでいます。第63期の創立記念例会を迎え、63年の歴史と伝統を大切に、コロナ禍を乗り越え、次なる一步を皆で踏み出していきましょう。

幹事報告 別紙をご覧ください

出席報告 会員数56名 内出席免除15名
出席者33名 事前メーキャップ0名 出席67.35%

ニコニコボックス

- ・山口ガバナー補佐よりご祝儀を戴きました。
- ・荒木康雄・向山賢悟 来賓の皆様のご来訪を歓迎致します。
- ・神山公秀 長欠しましたが元気になりました。
- ・塚越 寛 久しぶりに参加しました。
- ・山田 益 大変うれしいことがありました。

ガバナー補佐ご挨拶 山口健雄ガバナー補佐

ガバナー補佐支部会議で、グループの半期の報告を致しました。一つはポリオデーで、伊那 RC は33,280円寄付を集めていただき大変ありがとうございました。

上沢ガバナーは、各クラブで職業奉仕について、班ごとの夜間例会をやって欲しいと熱く語られました。半期の講評では、グループ全体としてポリオの活動等に積極的に取り組んでいただいているということに対して高く評価をしていただきました。

続きまして IM について、今年是对面で開催致



します。会員セミナーは、テーマを「ウィズコロナ時代の会員増強と公共イメージアップ」とし、パネルディスカッション方式で開催します。桑澤直前ガバナーと各クラブ1名の会員にご登壇いただきます。基調講演では瀬戸市の本業窯八代目継ぐことになっております、水野裕介さんに講演していただきます。懇親会も楽しみにしておりますので、是非多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

第63期ロータリー財団寄付認証者発表

MPHF (6回) 下枝正一・荒木康雄
(2回) 赤羽弘之

PHF	城取健太・登内豊明
ロータリー財団寄付額	
ポリオプラス寄付金	\$ 1,684.06
平和センター寄付金	\$ 189.28
毎年1万円寄付金	\$ 2,651.60
個人年次寄付金	\$ 4,100.00
個人年次寄付金(全員)	\$ 756.56 (\$ 13.51)
合計	\$ 9,381.50

第62期米山記念奨学会寄付認証者発表

米山功労者マルチプル
(5回) 三澤清美・荒木康雄
(3回) 清水紀光 (2回) 赤羽弘之
米山功労者
(1回) 増田 清・唐澤洋祐・飯島松一
米山記念奨学会寄付

普通寄付(クラブ寄付)	165,000 円
特別寄付	700,000 円
合計	865,000 円



委嘱状伝達 2023-24年度地区役員・委員
地区諮問委員・新クラブ結成推進委員長 中川博司
デジタル化推進副委員長 唐木 拓
会員増強委員 増田 清
職業奉仕委員 飯島松一

第44回伊那ロータリー顕彰受賞者発表

梅垣佐知子様

〈活動内容〉昭和57年～令和4年3月まで地元の子供達に地域の伝統芸能を伝承するため、剣舞と詩吟を教え続けて来られた。現在は大人向けの詩吟教室は継続している。

〈顕彰理由〉40年という長きにわたり、「剣舞」という伝統的な踊りと漢詩や和歌などを節回しで歌う「詩吟」を通じて子供達に地域の伝統芸能の大切さを伝えるなど、健全な青少年育成に貢献して来られた。

〈受賞者ご挨拶〉

青少年健全育成のために少しでもお手伝いできればと考えておりました。昭和52年から詩吟と剣舞を学んで参りましたので、地域の子供達に詩吟と剣舞を通して、この伝統ある文化を伝えたいと平成4年に立ち上げました。以来徐々に人数が増え、公民館が狭いぐらいになりました。



平成7年に上伊那学風会より依頼があり、青少年ひまわり会として地域の敬老会、文化祭や農協祭などで活動して参りました。

そんな活動をして来ましたが、非常に少子化で、令和4年の3月をもってこのひまわり会は閉じることになりました。私も大変高齢でございますが、今こうして私が元気でいられるのは、やはり子供達から若いパワーをいただいたお陰と今更ながら感謝をしているところです。

今後も元気でいる限り、今日のこの顕彰に恥じることはないように頑張ってお参りたいと思えます。本当にありがとうございました。

宮下成彰様

〈活動内容〉自身の青少年時代からの野球経験による知識と人脈を生かして活動し、上伊那地域の野球全体の振興と発展に寄与し、上伊那中学校野球部の秋の新人戦予選会として、伊那RC主催の「伊那ロータリー杯」の運営を担い、上伊那中学校野球部の発展に尽力して来られた。

〈顕彰理由〉

20余年の長きに亘り「伊那ロータリー杯」の事務局を務め、中学校や野球部監督と連携して大会運営に尽力し、上伊那地域の青少年の健全な育成に寄与してきた功績は多大である。

〈受賞者ご挨拶〉

思い起こせば、21年前に第一回の大会を開きました。当時上伊那中学の秋の大会はほぼ無く、これが唯一の大会だったのをよく覚えていません。その時の試合は一回戦21対0とか、本当にひどかったのが今、上伊那の中学校の軟式野球のレベルは非常に上がっていて、県内の私立高校の草刈場のようになっていて、甲子園に出るチームにそれぞれ選手が入っているというような状況です。



昨年も東部中は、東日本大会準優勝まで行っております。上伊那の野球が強くなった一つには、皆様の会費の中から頂いたお金で運営してきたこの大会が間違いなく一助になっており、改めてお礼を申し上げます。

伊那RCさんの益々の盛会を祈念致します。本日は本当にありがとうございました。